

鷲ノ木遺跡

草創期 早期 前期 中期 後期 晩期

遺跡存続期間：不明



わしのきいせき

鷲ノ木遺跡



▲参考HP

所 遺跡は非公開ですが、年に数回遺跡見学会が行われています。
(遺跡見学会は、森町ホームページで広報します)

Tel. 01374-2-2186
(問合せは森町教育委員会社会教育課文化財保護係)



高速道路からみた鷲ノ木遺跡トンネル。遺跡保護のため遺跡直下部分は特殊な工事が行われました。

世にも珍しい高速道路上の巨大ストーンサークル

駒ヶ岳の北西13kmの距離にあるのが鷲ノ木遺跡。遺跡発見のきっかけは北海道縦貫自動車道の建設に伴う発掘調査でした。分厚く積もった駒ヶ岳の火山灰に守られる形で道内最大規模の環状列石が姿を現したのです。さらに北東北の環状列石との関連性が明らかになり、国指定史跡としての保存が決定。遺跡の下に高速道路が走る世にも珍しいストーンサークルとなりました。現在、鷲ノ木遺跡は北海道と北東北の縄文遺跡群の関連資産として、保存に向けた準備が進められています。

環状列石は死者を送る儀式的場

環状列石は大まかにいうと墓に関連する施設です。しかしその埋葬方法は現代と違い、遺体を安置して白骨化し遺骨を再び埋葬する再葬というやり方で行われていたと考えられています。つまり環状列石は死者を送るための施設だといえます。空から見ると美しい円を描く石の輪は、死者の魂におけた縄文人のメッセージなのかもしれません。



イカ形土製品(鷲ノ木4遺跡)

鐸形土製品って何?

秋田や青森など環状列石のある地域で必ず出土する謎の道具。ひもを通す穴が開けられていて、身につけたか手に持って使われた可能性があります。



鐸形土製品(鷲ノ木遺跡/鷲ノ木4遺跡)



謎の竪穴が出ていた!

鷲ノ木遺跡から少し離れた山の斜面で見つかった竪穴群。食糧を保存する貯蔵用、あるいはお墓の可能性も。ちなみにイカ形土製品はこの付近で出土。



埋設土器(鷲ノ木遺跡)

日本最大級のはずだった板状土偶

環状列石より古い縄文中期の土偶で、全パーツがそろっていれば、日本最大級の板状土偶だった惜しい存在。



板状土偶(鷲ノ木遺跡)

骨壺に使われた土器

角ばったうずまき文様が踊る土器。もとは煮炊きに使われていたものを上と底を打ち欠き、骨壺(こつつぼ)として利用したものと考えられています。